

大津弘報

昭和三十一年十月一日発行  
毎月一回発行（通巻第二十九号）

発行所 大津町中央公民館  
印刷所 大津市川人印刷所  
編集人 川島武夫

# 大津弘報

十月号 主要記事

第五回大津町議会定例会招集

大津町健全財政の基礎盤石

十月十八日体育祭典を挙行

予防注射のお知らせ

水・陸稲の集団品評会を行う

身体障害者の巡廻診査相談

赤ちゃんの一斉検診

熊本城天守閣の瓦を寄贈しましょう

お知らせ

保険税を納めましょう

瀬田にも農村電話お目見得

滞納一掃に御協力下さい

先進地に学んだ青年の報告書

性犯罪について

# 第五回大津町議会定例会招集

第五回大津町議会定例会は九月二十一日に招集された  
 第一日目は午前十時より本会議を開き、会期決定、上程  
 説明、質疑、決算特別委員会の構成、委員会付託の上、  
 一般質問がありました。

## 本会議の会期及日程

九月二十一日(月) 本会議、会期決定、上程説明、質  
 疑、特別委員会構成、一般質問  
 場所 議場 午前十時開会  
 九月二十二日(火) 全委員会町道及岩坂小学校調査、  
 午前九時  
 九月二十三日(水) 決算特別委員会 議場午前十時  
 九月二十四日(木) 休 会  
 九月二十五日(金) 文化、経済、土木、各委員会  
 午前十時  
 九月二十六日 総務委員会 議場午後一時  
 本会議、議案の審議、決定、 議場午前十時  
 議案五十七号より一八十三号(六十七号)  
 七十七号修正可決の外原案可決する。

## 人事問題

- ① 議案六十八号教育委員の任命、甲斐貞政殿
- ② 議案二号大津町選挙管理委員会及補充員の選挙  
 選挙管理委員が委嘱されました

### 委員

益田 止 (前委員)  
 中尾喜一郎 (農業副村長)  
 尾田良藏 (前日蓮支店長)  
 三池行雄 (農家)  
 補充員  
 大田黒春成 (前町職)  
 清藤勝次 (前商工会長)  
 臼杵茂清 (前農協長)  
 梅田虎雄 (前委員長)  
 九月三十日 午前十時より  
 本町会議場に選挙管理委員会、初会  
 あり委員長互選され清藤一致推薦中尾氏に  
 決定された

# 消費を抑え、建設面に傾注

## わが町の健全財政の基礎盤石

昭和三十三年庶一般会計決算額は歳入総額を僅差千六百  
 六万四千四拾参円に対し歳出総額を僅差五千参百六拾九万  
 七千六百参拾八円で七百参拾六万六千五百五円の繰越金  
 を以て越年致しました。之は合併後最大の繰越額であり  
 新市町村の指定を受けた新町として健全なる財政運営の  
 下に合併効果を發揮し得ましたことは真に慶賀に堪えな  
 いことであります。

多額の繰越金を生じた主なる原因は町税に於て貳百拾  
 万円、交付税百参拾万円の予算に対する取入増加と消費  
 的経費の節減によるものであつて特に納税成績の具備に  
 ついて町民皆様御協力がその効果を実現させたもので  
 あり衷心より感謝に堪えないところであります。

投資的経費の総額は参千拾壹万円で決算総額の三六%  
 を占めて居り之を各部門毎に示すと次の通りとなつて居  
 ります。

### 一、役場費

本年度は新市町村の指定を受けましたのでこの実効  
 を挙ぐるべく調製した建設計画に基き連絡用自動車を  
 購入し大規模行政浸透とサービス行政の向上に努力しま  
 した。

### 一、消防費

消防ポンプ五台を購入し分会回が動力ポンプを保有  
 することになり建設計画の完全実施と防火施設の整備  
 に万全を期すべく努力しました。

### 一、土木費

前田壘線平川側溝工事、護川小学校通学道路、森線  
 改修、吹田橋、錦野迫橋等の新設又は改修並に九十八  
 件の補修工事を行うと共に新市町村指定により小型四  
 輪車を導入し町道全線に亘り路面その他の補修改修を  
 行ひ町道の面目一新のため努力しました。

災害土木事業については平川筋両岸杉水村緑の復旧工事を施行しその他国道拡張工事として大分館本線黒道改良事業として旭野緑の工事についてそれぞれ負担金を支出し国道改良工事に協力しました。

#### 一、教育費

学校の管轄関係については平川小学校の移転に伴う校舎の増築、平真成中学校の統合に伴うスクールバスの購入並に車庫の新築、真城小学校の運動場の拡張及び各校の維持保存に留意し改修又は補修又は補修を行ひ教育行政の向上に努力しました。

#### 二、社会及び労働施設費

年次計画による公営住宅は簡易耐火構造第一種四戸並に木造第二種二戸を建設し住宅不足の緩和に努め社会福祉施設として養老院建設の計画を樹て第一層手として敷地一、八八九坪を購入しました。

#### 一、産業経済費

農業振興政策として南部地域に新農村建設事業計画を樹て基本政策の一段階として参百七万円の事業費を以て追井手土地改良事業外七件の事業を施行しましたが各年度計画の完遂に努力する所存であります。

一般農業実用施設として水陸稲葉団品種試験展示場、農業研究団体育成事業水陸稲共同防除、ミスト購入助成、水陸稲早期栽培の育成天災による災害融資事業及び今村農道新設、鉦野坂改修並に一般農道の改修に努め生産の向上に努力しました。

畜産奨励として種牡牛四頭、乳牛十頭、種豚二三

頭を導入しました。商工事業の発展策として商工振興費の助成ついで祭典実施公園の改善、初市、地蔵祭、中元、年末大売出の協力並に商工会の育成に努力しました。

#### 一、財政費

新市町村建設促進法の定めるところにより固有林二十七町四反三畝二〇歩の払下をうけ新町の健全財政樹立に努力し又本年々造成しある町有林は本年度新積三十八町七反八畝、補遺四十四町歩で下刈手入を行った面積は四十四町歩であります。

#### 国民健康保険特別会計

遠隔のため急患発生時その不便を痛感していましたが本年度矢野川に診療所を建設し昭和三十四年度から診療を開始しました。

#### 上水道特別会計

本年度決算額は歳入総額四千八拾四万九千四百五円で四拾九万式千九百六円の繰越額を以て越年することを得ましたことは水道事業の順調なる運営の上には慶びに堪えないところであります。

近年町勢の発展に伴い給水量も漸次増加し夏期最大需用期に於て水不足を生ずる状況になりましたので給水地域内の町民の拡張工事に対する要望切なるものがありましたので起債を仰ぎ拡張工事遂行のため町民皆様の理解ある御協力のもと第一年度工事施行が出来ましたことを衷心より感謝に堪えませぬ。

## 秋空の下に緑り展げる体育祭典

今年は(十八日)乳牛も豚も馬も参加してパレード

町民体育祭開催について総合打合せを九月二十五日中央公民館において、区長、休協役員、青年団、婦人会役員等の参集を得て開催、結果今年の町民体育祭は次の通り挙行することに決まりました。

町民体育祭は町の中行事の中でも最も大きい催しで例年数千人の町民が会場に溢れる盛大なもので、この日は老も若きも、仕事を休んで日頃の苦勞を忘れ一日を愉快に過す町民レクリエーションの日です。

今後区長、休協支部又は青年団婦人会等の団体組織を通して色々な協力のお願がまいることと思いますが、町民の皆様のお交遊を得て盛大になごやかにこの体育祭が挙行できましようお願いいたします。

2、実施法 採点競技、オープン競技の二種とする。

3、参加資格 A 十月十八日以前に大津町に居住を有し居住区より出場すること。

B 学生、生徒は指定された種目外の出場はできない。

C 出場は一名一種目、一種目一名とする。但しレレー、フィールドとの重複出場は可。

D 年令は歳を年とする。

4、其の他 A 出場選手名簿提出は十月十日迄に区長又は休協支部責任者より事務局に提出する。

x x x x x x

ノーアーン競技

小学校対抗リレー  
中学校対抗リレー  
職場対抗リレー

青年団競技  
800mR (男) 4名 1組  
400mR (女) 4名 1組  
フオーワードンス 須賀山、外

婦人会競技  
年代別リレー 25才 26~35才~45才 46~55才 4名 1組  
フワツツワンソー 10名 1組

調 引 支部 各30名  
民 部 南岡土佐を後にして 外

区 長 会 探点 支部 各1名

100m 探点 支部 4名 1組

200mリレー 探点 支部 (未定)  
競 員 団 (未定)  
消 防 団 (未定)  
幼 稚 園 (未定)

女界の体育教育は日比谷区の健康の増進を計るため  
これまで町の補助金を交付しつらうして導入した乳牛・鶏  
・鵜などの畜産を行い、専業主婦貧困の途をくりひろ  
げようとなりましたので、大変な願いが予想されてい  
ます。

5、團 員  
探点競技 (トワツク)  
100m (男) 25才迄 26~35 36~45、46~55迄  
(女) 23才迄 26~35  
50m (男) 56才以上 46以上  
(女) 36才~45 46以上

200m (男) 25才迄 26~30 31以上  
(女) 柳原なし  
800m 男 25才迄  
400m 男 26~35 36以上

1,500m 男 25才迄  
支部対抗リレー

(男) 小学生、中学生、20才、30才、40才、50才、各1組  
(女) 小学生、中学生、20才、30才、40才、55才、1組  
800mR (男) 年齢制限なし 4名 1組  
400mR (女) 年齢制限なし 4名 1組

夫婦二人三脚 主人の年齢40才以上  
ロードレース 25才以下

探点競技 (フイールド)

走高跳 (男) 25才以下  
(女) 制限なし

走り跳 (男) 25才以下  
(女) 制限なし

砲丸投 (男) 25才以下  
(女) 制限なし

三段柔 男 25才以下  
四段投 (女) 制限なし

予防注射お知らせ

百日咳予防注射を左記のとおり実施しますので、該区民  
は視れなく予防注射を受けられるようお願いいたします。

当初(回克)三回(来朝)の者は三回予防注射を受けなければ  
は効果がありませぬので申渡します。

一、疫 期 目

初回免疫 昭和三十三年九月二十六日から昭和  
三十四年六月二十一日まで(初出生)  
二、生後二ヶ月以上で一度も受けていな  
る者。

追加免疫 初回免疫後十二ヶ月より十八ヶ月まで

水・陸稻の集団品評会を行います

十月十日まで申込むこと

一、出品資格

町内で居住する農家で五戸以上を一組とし、出品園

⑤ヶS。

実施場所	実 施 月 日		
	1 回	2 回	3 回
瀬田小学校	十	10.26	12.14
鶴野小学校	十	10.26	12.14
岩坂小学校	十	10.27	12.15
平真城聖永公民館	十	10.27	12.15
陣内小籠校	十	10.29	12.16
廣川公民館	十	10.29	12.16
矢護川診療所	十	10.30	12.17
大津町公民館	十	10.30	12.17

場は往続きの五反歩以上の畝圃を一点とし水路、農  
道は縦横とみる。

陸稻は圃場間隔一〇〇米以内は縦横とみる。

二、申込について各

農協で所定の申込書を送付してありますので、農協



に申込んで下さい。  
 三、申込期日 十月十日まで  
 四、品評会予定日 随時 十月十日まで  
 水稲 十月二十日

### 身体障害者の巡回診査相談を行います

十月十七日 大津中央公民館までおいで下さい

身体障害者の巡回診査相談が十月十七日午前九時より午後三時半まで大津町中央公民館で行われます。  
 当日は障害年金の関係で相当の混雑を予想されますので軽度で簡単な診断などは適宜して下さい。麻傷を除き、身障の補装具の件数次第では予算上やむを得ざるものは来年度に交付されることがあります。  
 ④ 昭和三十一年四月一日前入手帳の交付を受けた者については、その後における障害程度の変化を考慮して同上肢のすべてを指を欠く者、又は両下肢を足関節以上で欠く者を除き年金用診断書の作成が必要であること。

(甲) 年金用診断書(障害程度一級、二級、該三者)の作成は、すべて医師が行える建前であるが、その様式が複雑であるため、障害の種類及び程度によつては相当多額の経費を必要とする場合も予想されるので、身体障害者巡回相談に出席した者については、無料で年金用診断書の作成される。  
 (乙) 受障者は当日印鑑持参のこと。  
 (丙) 身体障害者手帳所持者は手帳、印鑑、戦傷者は恩給証書又は障害年金証書を持参せしめること。

**赤ちゃんの一斉検診**  
 (コンクール)  
**母子手帳を当日持参して下さい**

母子手帳は当日必ず持参のこと  
 県立第七回秋季乳幼児一斉検診を左記のとおり実施

しますので該当児は洩れなく検診される様お願い致します。尚受付は当日致しませぬ。  
 対象 1、乳児昭和三十三年十月一日から昭和三十四年九月三十日まで出生したものを。  
 2、昭和三十三年十月一日から昭和三十三年九月三十日まで出生したものを。

実施場所	実施月日	時 間	備 考
津田小学校	十月十二日	午後自一時	
鶴野農協	十月十三日	全 右	
陣内小学校	十月十四日	全 右	
豊川小学校	十月十五日	全 右	
平真城 深谷公民館	十月十六日	全 右	
大津小学校	十月十九日	全 右	大字大津高尾野引水 黒川第三発電所
大津小学校	十月二十日	全 右	大字室新村灰塚
大津町公民館	十月二十日	全 右	町第二次診査

### 自衛官募集

昭和三十四年度第三次自衛官を左記により募集集中であるから多数志願されますようお願い致します。  
 一、募集期間 九月一日より十月十日まで  
 一、応募資格 昭和三十五年二月一日現在で十八才一十五才未満の者  
 一、試 験 十月末予定  
 志願者は役務総務課に御連絡下さい。  
 尚高校在校生に対しては早期受験の便宜が図られますので(三十五年三月卒業見込の在校生) お知らせ致します。

### 熊本城天守閣の瓦を寄贈しましょう

慶長年間加藤清正公により築城せられた熊本城天守閣は昔が森の都の象徴として今や安土桃山時代の雄姿を再現しようとしています。  
 日本三大名城(熊本、大阪、名古屋)の中、大阪城は既に修復されて観光の一環をなし、近く名古屋城が亦再建の完成近きにあります。その中の一つとして特に露社偉観を誇る熊本城天守閣が西陣役以来県市民の絶大なる支援と松崎吉次郎氏の篤行も織込まれて、今やその再建

工事は着々と工程を進め再び昔日の偉容を老境の中から天空を離して遠近から欽仰する日をえんとしています。

扱、前記松崎氏府申出により、県市役の間に熊本城天守閣再建の懇意が更に高まり、瓦一枚でも是非寄贈したいとの声が澎湃として起つてきましたので、これに應えて、今回天守閣見寄贈を次の要綱により取致うことに致しました。

### 要 項

- 一、目的 瓦寄贈者の御芳名を瓦の裏に記入、その御芳名を永く後世に伝える事を目的とします。
- 二、取扱場所 熊本城内、太洋百貨店、鶴屋百貨店、熊本城内(子窓)熊本市役所内
- 三、期 間 自昭和三十四年十一月一日起至昭和三十五年三月三十一日
- 四、申込方法 (イ) 申込者は受付にて御芳名録(永く保存致します)に住所、氏名を御記入の上、瓦実費(一〇〇円)を添えて御提出下さい。

① 申込者は瓦の裏に自筆して下さい。  
 尚御希望の方には代筆も致します。  
 (ロ) 記入用具は受付に準備しております  
 (ハ) 遠隔地のの方は代金を添え、市観光課宛申込下されれば御取扱い致します。

### お知らせ

菊池家畜診療センター大津分院は十月一日より診療開始しました。

センター	場所	電話
大津分院	大津野中学通り	(大津) 二一八
森連絡所	旧日置家畜医院	(翁誌) 一三
職 業	獣医師 (五十音順)	
獣医師	今村 千年	坂梨邦治
	" 鬼塚 甫	" 日置弘人
	" 木村 真一郎	" 松野 直
	" 合志 熊喜	" 矢野 智皆
	" 坂田 正年	事務員 荒木 紀久代

◆ 畜産相談 ◆  
 ◆ 畜産相談 ◆  
 ◆ 畜産相談 ◆  
 ◆ 畜産相談 ◆  
 ◆ 畜産相談 ◆

### ◇ 公営住宅起工式

昭和三十四年度計画の公営住宅については関係各課に於いて之が起工準備に才盡であったが、ついでに親睦会に於き八月末入札第一種「ロット」耐火構造建築は大協建設の手によつて木造第一種は木村工業の手によつて落札、大字引水字西鶴の公営住宅団地最寄りの場所に各十戸、計二十戸が工事着手九月二日起工式が付われた。

工 費 簡易耐火構造第一種 三三六万円  
 " 木造平屋第二種 一一〇万円

### ◎ 養老院起工式

新町村建設計画の一環である養老院については関係各官庁と交渉中であつたが、この起工式が決定、去る八月二十八日午前十時より役場に於て建吉組、寺江組等九社参加町長立会のもとに入札に附された。結果、建吉組が一八〇万円にて落札、建設予定地の整地も「フルトラー」を使用しては終了したので九月十八日午前十時より現地に於て坂本町長、西本議長、関係各委員長出席の上盛大に行われた。

### ☆ 愛林橋竣工

昭和三十四年度単独町営事業として計画されていた平川愛林橋は去る八月五日役場に於て大社参加入札された結果東東建設が二六万五千円で落札爾後鋭意完成を急いでいたが九月十日無事竣工、九月十八日部落受益者多数参列の上これが竣工式が盛大に行われた。

### 「明るい家庭は先ず健康から……」

保険税は必ず納期に納入しましょう

絵の秋がやつて来ました。  
 皆様方の国民健康保険も今年が第三年目、すく〜と伸びて参りました。

昭和三十三年年度の保険費を見てもお判りと思いますが、保険給付費は実に一、二九九万円に達しました。そのうち六割八歩を占める八五八万円が保険税の収入です。残りの三割二歩が国の補助金等で医師に支払つたこととなります。

このように保険税は直接医療費等に使用されるもので被保険者には最も身近な税金ですから必ず納期に納入して滞らないようにして下さい。又滞納している人は今年の農作を機会に洩れなく完納して下さい。

敵々農家は忙しくなつて来ます。「明るい家庭は先ず健康から」明日の農繁期に備え雨氣や怪我は軽いうちに医師の診察を受けましょう。

★ ★ ★ ★ ★

### 瀬田にも農村電話近くお目見得

診療所は、五三五五番

農村電話は合併後一ヶ所余架設されて、わが大津町は他町村にその優位を誇っていますが、今回、坂本町長は上京の際、松前代議士と連絡をとり関係方面に要望の結果、近く瀬田地区にも農村電話が架設されることになりました。なお矢護川診療所の電話も五三五五番が決定架設されます。

### 四年の労苦遂に栄冠を獲得

陣内青年団演劇部全国大会へ出場決る  
大津地区青年団の演劇活動は県下でもその水準が高く、年々充実した活動がなされ、県下の関係者より高く評価されているが、その代表とも云うべき陣内青年団が九月十七日県大会に於て見事一位を獲得し、来る十一月九日より東京で開催される全国青年団演劇大会に出場することになった。

この演劇部は四年前より全国大会を目指して練習を重ね昨年は県大会で長洲青年団に破れ惜しくも二位となり野望を逸したが、今年昨年の経験を生かし練習の結果二位熊本市青年団と差越僅差で優勝したものである。町ではこの榮譽をたぐえて全国大会出場費として追加予算が計上され、演劇部員も連夜練習はげんげいで、尚近く公民館演劇部と合同で壮行発表会を大津小学校で開催し予定で準備をすすめている。

## 豊作だの鎌を取る 手に納税完遂 税務課員総力をあげて滞納一掃

昭和三十三年度におきましては最初心配されておりました豊作も好天に恵まれ意外の豊作となり町税の収入におきましては豊作長良の好影響を受け町民の皆様の絶大な御協力もあつて前年度より向上致しましてお蔭さまを以て予算の完全なる執行ができましたことを心から感謝致しております。

然し乍ら県内他市町村と本町の税収の比較を致しますと時まだ、他市町には劣つているわけではあります(県平均成績では

中以下である)幸にして数回に及ぶ颱風も我々が郷土を襲け本年も未曾有の大豊作の模様であり、此の絶好の機会をもちまして本年度こそ町税一〇〇%完遂、健全なる財政の基礎を確立したいと思ひますので宜敷く皆様の御協力を願ひます。

徴収計画をおきましては左記の通り三十四年度町税の徴収計画を獨立執行致しますので重ねて御協力下さい。

### 記

#### 昭和三十四年度大津町税徴収計画

##### 一、滞納総額の整理処分

九月中に整理カードの整理完了

十月上旬より下旬に至る間徹底的に戸籍徴収を実施

十一月上旬滞納処分(送附物件引上公売まで)

##### 二、現年度滞納整理

十一月下旬より前記徴収と併行し随時徴収

年末(十二月)全力を傾注して滞納一掃を実施

##### 三、徴収整理班の構成及担当区域

1 班	2 班	3 班
松古間・糖町	上大津	件町・鶴口
上鶴二・三	後追・日吉町	吐・上鶴一
本町二・三	中学通本町一	前田町
旭町・水澤町	片平・年輪	駅通・本町四
桜町	蜜一・二・三	室四・五 袋小路
灰塚・新	引水	井手上・村西・天神
中島	下町	森
上町	下陣内	上・中陣内
鐘野・鳥子川	岩坂	内牧・外牧
大林	岩坂	瀬田・吹田
真木	平川	高尾野
杉水・今村	矢護川	小林・源場

- 一 班 芦川 興・上田弘吾・山田昭義・三池博
- 二 班 余田 忍・清水 正・佐賀 栄・水村 守
- 三 班 國武富雄・宮崎敏寿・田代徳寺・中村安太郎

附記  
右の整理班は三十四年度会計年度を終了するまで担当致しますので期間中は徴収上又は町税金般についても何事によらず御利用下さい。

責任を以て整理致します。

恩給法（公務扶助料）援護法（遺族年金）と  
国民年金法（老齢福祉年金）との関係について

熊本県遺族連合会

公的年金	先順位者	福祉年金該当	遺族		老令福祉年金受給額 1人につき9,000円 2人計 18,000円
			制	限	
恩給法	妻又は 子	母父2人	1人につき3,000円差引 (12,000円—3,000円)	なし	12,000円
		父又は母1人	なし		
	父又は母 (父又は母)母	公的年金が老令年金より多いので支給しない 配偶者の公的年金から6千円を差引いても老令年金より多いので支給しない	○		
援護法	妻又は 子	父母2人	老令福祉年金の額から遺族年金の額を差引く 12,000—5,000		1人につき7,000円 2人計 14,000円
		父母2人	遺族年金2人分×50%が1人分の支給額であり福祉年金より多いから支給しない	○	
	父又は母	遺族年金額が福祉年金より多いから支給しない	○		

老令福祉年金支給停止の各項

- ①老令福祉年金受給権者に 前年度の所得額が十三万  
以上あるときは停止
- ② 配偶者が所得税を納付するもの  
であれば
- ③ 六、六〇〇円以上の公的年金を受  
給する場合はその公的年金額から六千円を差引  
た残りの額に相当する額を支給を停止す
- ④老令福祉年金受給権者の扶養義務者（世帯主）の  
所得税が二、六〇〇円以上あるときは支給を  
停止する。

先進地に学んだ青年の報告書

大津町中央公民館の最大行事として町内各  
方面から期待されている青年団の先進地游学  
は台風第七号の来襲により例年の長野県奥野  
が駄目になったので、静岡県と神奈川県を実  
習地と選び、静岡県では駿濃と幾野、神奈川  
県では駿馬と、ふ塚どりて八月末より九月中

旬にかけて九名の青年がはる／＼、現地に游学、それ／＼  
の農家に家族と起居を共にして身をもって体験を積ん  
だ、更に角、城居のきびしい時期であり、しかも開けな  
い土地での研修だけに青年たちの労苦も一通りのもので  
はなかつた、以下は青年の研修報告を紹介します。

式森隆一

僕はこのたびの静岡酪農の研修は、今父が酪農経営を  
いなんでいるのを自分がそれ以上に経営の安定を計ら  
うと思ひ、こんど第三回先進地実習に酪農経営を学ぶ  
し九名のうちに参加させていいただきました。家族や友人  
に思い／＼の言葉を、この三週間の予定で八月二十八日  
大津本、静岡間でのこと。

熊本、静岡間でない汽車の旅で一夜を明し、二十  
九日午後四時三十分吉良公民館館長に迎えられて静岡につ  
く事が出来たのです。家思ひの自分は三週間他人の家で  
生活しなくてはならないかと思つて非常に淋しくなつた  
のです。二十九日から三日まで静岡県の講習所において  
三日毎自分の実習する丹那にたどりつく事が出来ま  
した。その夜からなれない他人の飯をくわなくてはなら  
ないのです。

飯を食べる時には自分の明日の仕事に一つ一つ心が自  
分に言つてゐるのです。その中で一番思つたのは実家で  
は朝ねをしたのに早起が出来なだらうかと思つたのです  
でも他人の飯は非常に人間を作るのです、起床五時頃  
はたしかに、おきたのです、ねむいのに牛舎に主人と一  
緒に行きました、まだ仕事のだんじりがわからぬ自分  
にとっては苦手だつたのです。

牛の浜山つんだフンをとり又フンで黒く化粧した牛体  
を洗ひそして乳しぼりなのです、それが大体六時半頃ま  
でかかれます、もうその時には自分の腹だ他人の腹  
だかわからぬくらい腹がすいているのです。

朝飯前にも存分仕事をしたのに他人の飯をくうには  
非常に心配です、食べたものをまんじ牛の運動  
に出かけなければならぬ、帰るると飼料カブの積付の  
準備です、三十五度もかたむいた桶ですて広い赤土の中  
で一つくわでうたなければならぬのです。

このように悪条件によく丹那人は仕事が出来る  
と熊本平野に育つた自分はいくわでたがやすたびに心では痛  
切に思ひました、僕はこの仕事がいつ終るのだろうかと他  
の実習生の人と話し苦勞を語り合つたものです。

そして五日よりややく畑のたがやしと終り、家族に出し  
た手紙の返事がきたのです、その時の自分は手紙を二・  
三回読みなが出るほどにうれしくなつた、日が経つにつ  
れて研修地の家族とも大体なれ仕事も朝から夕方までわ  
かり仕事があつたのしくなつた、僕は研修生活をしていた山

口香さん方は、畑一町三反、水田二反五畝、畑は九割までが飼料園です。乳牛四頭、馬一頭、家鶏四名で電化製品一式、夫婦の住らめしほほど、家庭円満でした。そして村は一致団結、共同心の高い村でした。本当にこれからの酪農は共同心が一番だと思つたのです。以上は僕の丹陽農研修報告ですが丹陽酪農を一口にいいますと、改良牛を多く飼ひ最大の乳量を出し、購入飼料を最少限度に止め、改良仔牛を高く売る事を目的としています。ですから大津の酪農と違つて繁殖酪農と言つた方がよいくらいです。

### 宇野源一

私の家では、ブドーを約五反植えておられますので、今回の研修では、ブドーを勉強して来たいと思つていましたけれども、通常の第七号台風で、山梨、長野のブドーの木場が、相当痛めつけられましたので、はなはた残念な事でしたが、果樹の勉強はできず果樹と関係な関係のある養鶏を勉強して来ました。

二十九日の夕方、静岡に着きますと、災害でで行けなくなった道をバスにゆられて、一路焼津市に向、目的の農家、新村さん方につきましたのが、午後の十一時をすぎていました。籠車を出発して、はるく三十時間、汽車にゆられ、バスにゆられて、ようやく研修の農家に到着しました。

新村さんの家は、千羽養鶏をやつておられました。その千羽の鶏を、大体細主人、新村さん一人が管理しておられます。それから朝の給餌、アラ取り、そして、朝食、しばらく休けいの後、鶏糞を干したりアラをたきまして、二回目の給餌、そして中食、又しばらく休けいの後、集卵し、卵をきれいにふき、三回目の給餌が大体四時から一時間、そして醗酵飼料を作り、第四回目の飼料を手きまして、大体一日の仕事は終ります。これだけの仕事ですけれども、新村さん方で仕事をされるようになりましてからの二三日間は、仕事が大変づつらかつたです。旅の疲れと、気苦労が一緒になりました。本当に、えさや水をかけて、二階に上つて行く時は、一段々階段をふみしめて登つて行きました。

結局、農家に到着前の一日間はゆつくり休養を取らせて貰ひ度いという事でした。それでも馴れてくと卵をふく仕事が目だけで、他の仕事は、なんでもありませんでした。

新村さんの家の位置は、焼津市内にありまして、それも、旧市庁舎と、今度新しく建築するはずの新市庁舎の中程にありまして、当然、汚染は、市の中心部になるだろうと思はれる所にあります。それでも、田んぼは四反

程持つておると言つておられました。

こんな場所に於きましての、卵の販売ですから、小売の十四円でどんく売られました。又焼津にも農協がございまして、四と九つづく日に農協が集荷しまして、これは横浜に出荷する予定です。

新村さん方に、横浜市場調べによりまして三十年から三十二年度にわたりました三ヶ月間の、那備の動きをグラフに表わしたものがありませんでしたので、その概況を御説明致します。

まず始めに、最低価格とその時期は、  
三月中旬四月中旬の約一ヶ月間でありまして貴当り価格は七〇円前後となつていました。尚、四月中旬には、最低の五十五円となつた時もありました。

又、最高価格とその時期は、十二月下旬で九百八十円前後です。尚、三十一年には一千二百円という高値が出ています。そして、この高値も、一月上旬迄でありまして、中旬からは、徐々に安くなり、先程も言いましたように、三月中旬から四月中旬で最低価格となりまして、それから、五月上旬から徐々に騰貴しまして、七月から十二月上旬頃は、高値で一千円、安値で九百円という価格で取引されていると、そのグラフは、表わしてあります。

この騰貴から考えますと、卵価が割合高い、七月から一月上旬迄の約五ヶ月間は、産卵低下によりまして高値ではないでしようか。果して、この時期は、鶏にとつて睡むにも窮めない、悪条件があるようです。

例えは、

- 一、春の産み疲れによりまして産卵低下
- 二、夏の暑さによる体力消耗が原因の産卵低下
- 三、この時期は、丁度換羽期である事
- 四、日照時間が短い事
- 五、こんな悪条件が、いくつも寄り重つているものでしたら、卵を余り産まなくなるのも当然ですね。そしてはこの悪い条件を取除く方法として、どんな事をすればよいでしようか。まず、栄養管理をよくする事によりまして、鶏の体力を維持増進し、日照不足は、朝方か、夕方点灯する事によりまして、日照時間を補つて出来まして、実際、新村さんも、二年鳥と、三年鳥には、日照時間が十四時間になるように、夕方電灯を灯しておられました。

又、鶏の、飼料につきましては、私が、此の度、新村さんから、教つた事を基にしてお話し仕度いと思ひます。新村さんのお宅には、  
全部パターリーとケージに收容し、千羽の内、約九百羽には飼料に水を溶かした、いわゆる練飼を採食させ、残りの、百羽は、二階に飼つている関係上でしよう、水と

飼料を別に与えておられました。二階の百羽の飼料は成鶏マツシュ一本槍でしたので、餌を与えるのに簡単ではありましたが、これでは一羽当たりの飼料代が高つくのではなideでしょうか。それで、私は、新村さんが九百羽に与えておられました飼料につきまして御説明致します。

この種は、安上りな上に、食い残すよりな事もなく水も別と与えなくともよいものだから大変よいと思われました。飼料は、醗酵飼料と、二混合、小麦、成鶏マツシュ、貝ガラをよく混ぜ合せ、更に水を加えたものです。この醗酵飼料と言いますのは、フスマと、米糠、そして、菌体飼料を少々、これらをよく混ぜ合せ、煮沸したアラの温度だ四十度位の物を、又よく混ぜ一晩寝かされた物が、醗酵飼料です。

又、醗酵飼料の利点とする所は、  
一、肝ツウの働きを助ける。  
二、アラや、米糠の脂肪の消化吸収を助ける。

一、飼料中の消化吸収困難な栄養素の消化吸収を容易にする。

三、食欲を増進する。

四、醗酵させる事により、飼料の腐敗を困難にする。

大抵、このように説明して下さいました。新村さんは、二六年から養鶏を始め、無理しないように、徐々に羽数を増して来たと話して下さいました。が、もつともな事でありまして、一時に大羽数仕入れようものなら、その飼料代たるや、大変な金額になりました。又、新村さんは九百羽に練習を与えておられました。又、新村さんは九百羽に練習を与えておられました。これが、これをお金に換算しますと、二千三百五十三円三十八銭となります。九百羽単位では、実感がないでしょうから、これを十羽単位に直しましょう。

十羽の鶏に、一日に給する各飼料の量を申し上げます。  
フスマ 十一匁強  
米糖 二十四匁  
蔗糖 十七匁強  
アラ 六十六匁強  
二種 三十匁  
小麦 三十匁  
成鶏マツシュ 一百匁  
貝ガラ 六匁

合計十羽当りの一日の飼料の総量は、二八四匁、お金に換算しますと、二十六円十五銭となります。計算上は、二十六円位になりましたが、新村さんは、二八円位になるだろうと言っておられました。

さて、今までは、飼料を中心に、話を進めて来ましたが、この飼料で、どの位卵を産むだろうか、皆様は

産卵に興味をもたれることでしょう。一日一日の量は異なりますけれども、毎日の産卵率には、大差のないものであります。新村さん方には、千羽の鶏で、大体個数にして四八〇個、六貫四百匁位産んでいました。それも、この千羽の鶏の内には、今春の三月三十一日生れと、四月生れが含まれていますので、実際の産卵率はもつとよい訳です。一日の産卵量から、飼料代を差引き諸雑費を差引きましても、一日の純益が千五百円にはなるだろうと思ひます。

それに鶏糞もありますからね。一羽の鶏が、一年間に貯める鶏糞の量は七貫から八貫と、新村さんは言っておられました。そして、鶏糞の価格も、一貫当り三十五円であらうと見られています。

結局、結論としまして、養鶏の経営も、決して悪い仕事ではない、要はその人の熱と仕事に対するねばりだといふ確信をもつて掃蕩した次第です。

### 大塚精雄

私は、今度畑作における酪農経営と云うテーマのもとに研修生として、三週間の日程で、研修あるいは、色々な事を見聞して来ましたので、その一部を記したいと思ひます。まず御世話になった酪農家の経営、内容からはいります。

経営面積、水田七テール、部落で二番目、(平均二十五テール)畑百四十テール、山林百四十テール、外に採草地として部落共有の草原があります。その内訳は、青刈モロコシ、青刈ローザ、甘藷、牧草(タローパー)とオーチヤンドの混播)等が飼料作物として、約七〇テールが作付けられ、その他種用モロコシ、トマト、大豆、小豆、落花生、ごぼう、人参、その他色々な作物が、こちらで植えてある物は、ほとんど作られています。いずれも、自給したり、販売致しております。

家畜、乳牛四頭内搾乳牛三頭、これはいずれも高等登録で、十歳、八歳、九歳の高令牛ばかりでした。そこで僕が感じた事は、私達のところでは、高令になつたら手はなしますが、丹那では高令牛が多いのに、少々驚いた村でもほとんどが高令登録で雑種は余りいません。子牛は生後四ヶ月の牛で、函南村の原母牛として、毎年有能な農家に貸付られ.....

これは大津町の貸付隊と同じ制度である、外に、役馬が二頭あります。これは主に、運搬専用であり農耕には使わず、十五度位の傾斜地の為、畑の耕作も全部トラウ本にたよつてゐる為非常に重労働である、農家に雇いた翌日から、くく作業服に覆かえ、研修期間の八割までが、畑うちであった、慣れない仕事、グロッキーにな



り、これでは長後まで務まるだろうかと心配しました。

我が家では、馬一頭も養ひかねていたので、丹那では計五頭の牛馬のかいばを一人で受持ち養わねばならず、自分ながら、感心したりしたものである。又ある面では牛を飼うにも、自償が付いたような気がします。

実畜中の主人は乳牛の管理及び日課、五時すぎ起床し、六時半まで飼料作り六時糞出し、搾乳、ブラシかけ、その他の普通をし、六時半頃から朝食を取る、七時半より畑に行き、畑うち、カブ作り等をして十一時には帰宅する。時計は、おじいさんの長男も常にはめており、時間になつたら、すく帰るので非常に正確である、十二時頃まで、牛の管理をし、中食を取る、二時頃から六時半まで作業をし、七時半まで管理をし運動をする、八時から夕食、入浴をし、それから後は何時までも自由時間である。

始めは仕事でつかれて手紙を書くのが精一杯ですぐ床についた、行つたあくる日は、朝三時に起きて牛のお産を見たので、おかげで、牛の助産婦の役もつとめました。朝は早く起き、夜も早く寝るので、ほとんど、糞尿面に應まれない、その為ラジオだけで、毎日を暮らしておる、畑に行く時も、牛舎でも、トランヂェスターで、仕事しながら聞く位がたのしみである。

このトランヂェスターは我々の郷土にも、大いに取入れたいと感じたのでした、牛一頭当りの濃厚飼料(一ヶ月分) 大豆粕十貫アミノ粗五貫、唐ミン(カラムニエ割)一貫、塩約一握り、大体この位です、青刈飼料は毎三ワヅツ、カッターで切断して与える、みんなモーターを利用しており、毎度、スイッチを入れればモロコシが内れるのである、農家の一年の総収入、年間約八〇万の内、乳代四十万、米代金二十五万、山林十方、木炭一万、その他、オカボ、人糞等で収入を上げています、乳代の内訳は、一頭一ヶ月当りの乳代は、約一万三千円で、飼料代が四千円で、差引くと純収益の九千円残りです、これは乳直によるもので、多く出ればそれだけ収入が多くなる分けです。

現在牛乳の単価は一升当たり五十円十五十一円であり(市乳)加工乳は四十三円で養乳業に売っている、市乳は組合で加工して組合の自動車で畑に行く、組合には現在小型四輪二台、三輪車一台の車を持つております、組合では加工場もあり、その他、米麦、そ業等も組合に獲得してあり、多くの事業を致かつて、資本金五百八十九万と云うことでした、色々今まで書いて来ましたが外に、青年団活動、婦人会、陸奥の歴史、食生活等ありますが、この次に致しまして、今度の研修の事を總体的にまとめたと思います。

昔は自動車も通わなかつた、山の中のこの部落に、全国でも、有数の酪農地帯として発展したのは、どう云う訳であらうか、自分でも不思議に思つたらしいです、もちろん明治十八年頃から古い歴史はありますが……先覚者及び、都澤氏のたゆまぬ努力の賜もよりかもしれませんが、一躍有名になつた今日の改良あるいは生活に、研究しておられた事は誠に頭が下がる思いが致しました、我が大津町も気候も変わらず、立地条件もより以上に良く、耕作面積も多から、今迄進歩しなかつたのは、どう云う訳でしようか、あまり米麦に、たよりすぎた故だろうと思います、僕も今度研修に行つて初めて顔をあつたような気が致しまして、組合長さんが言われた様に「君達が先覚者として酪農の事について、自分達の町を引きたてて行くように」と云われましては、その信念にもとずいて、出来るだけ努力し、勉強して、お世話になつた農家より、最つと良い、安定した農繁結果を築きたいと思つています。

## 坂田昭則

僕は大津町の農業はまだ田畑農業ですが先進地は田も畑も町でつて農業誌をやっているかと思えば、いやそりではありませんでした。

僕の学んだ所は東海道線三島駅より一時間、海拔二五〇米位で四方が山に囲まれた部落で千米位の盆地です。その盆地の戸数は二〇戸位で、その益地で豊協小中学校、そして公民館もつたばかりです。丁度丹那は一つの村の線形を保持しています。

この部落は、田が一戸平均二反半、畑一町です。畑は八人は全部傾斜地を利用して馬農機具は使われていませんでした。僕の学んだ近藤春藤様方は家族で祖母、父、母、兄弟五人で、働き手は父母兄の三人です。家畜頭数は雑乳牛三頭、子牛二頭、牡牛一頭、役馬一頭です。

雑種は一匹も居らず、全部ホルスタインの登録牛ばかりです。行つて一番目についたのは牛小舎が住家より非常に完備されて居る事です。たとえば牛小舎の周囲は風通しが良く尿も牛小舎の外に尿貯に流れて行く様になっています。

そして牛小舎の上は三分の一程度住家になつて居りますが、丁度住家は二間あり旅館の様に作つてありました。木家はまだ昔のままのわらぶ屋根でした。実習の一日目の朝一番に目についたのは労働力が良い、実習の一日たるとは父も朝早く起きて乳牛の手入れ、兄がへみ作りです。そして二人で雑乳します。



農業経営は仰一町四反、田三反八畝です。この地方の畑は火入土で保水がなく作物は甚干乾の被害を受け易い所です。

飼料作物の冬作はカブ其の他冬耕作物の栽培は出来る所です。この部落は主に牛によつて生計を立てていますので飼れる牛も増える一方品種改良も県内一と云われています。僕の行った家は子供でもの世話をします。飼料作物は畑の二、三位作り残りは野菜類と日常必要な作物が作られて居ります。

飼料作物はトウキビ、ロツク、青刈大豆、甘藷、牧草カブ、レーフ、えんばく等です。丁度行つた時期が冬期作物の一つでカブ植付でした。次にサイレチとしてサイロに年に二回切込み五月上旬にえんばく、青刈麥、レーフ、二回目には八月下旬にトウキビ、ロツクを切込みます。サイロは二基あり全部半地上式です。

それだから年中三割を平均した量で与えられて居ります。搾乳は日に三回行い、六時、十二時、八時です。処理方法は生産者が共同水槽に入れておくも農協の三輪車が日に二回集乳して行きますので生産者は手が入りません。搾乳した乳は三分の二程度農協の機械で処理されます。ビン詰一本一合詰でこれは、沼津、吉原、熱海、三島、湯ヶ原等に農協の三輪車で運ばれます。残り三分の一は森水乳業に持って行かれます。

次に生活はやはり山田国で魚などあまり食べない様です。野菜類を多く食するわけです。店もあまりなく、日用品、雑貨、濃厚飼料は全部農協があつかい全部乳代勘定の時にさし引かれます。だから黒下一と云われた貧乏村でしたが乳牛導入によつて安定した農業経営をやつていてと云わねばなりません。

最後に丹那の酪農が富地のため農作物が常に災害に見舞われ不安定な農業で食料としては県下一と云う程度だったので農牛を導入して安定な農業をやる様になつた。大津町では農機具もその傾も傾斜地でないので丹那とくらべては条件は非常に良い所だと思いますので大津町の農業も今少し特色を生かした経営をやつていけば更に発展するのではないかと思います。

藤原熊夫

私の養鶏実習にあたりまして其の結果を御報告申し上げます。私のお志です。私の実習致しております所は、静岡県は徳津市の後飯島と云ふ所、小長谷勇市さんといわれる方で、現在では五百羽養鶏の技術の持ち主であります。

小長谷さん方の家族は五名家族であります。御主人は

四年前から孵化機につとめられておられますし、それからお母さんは当時三反の水田の手入れをしておられますので、鶏の方は主として嫁さんがやつておられるといふように、それはそれに仕事をもつておられる訳であり、勿論私が行きました日から鶏の方は御主人から一応の注意を受けまして研修期間中私がお世話をして来た訳であります。研究問題は次の通りであります。育雛の知識、育雛の方法、初生雛の飼ひ方、初生雛の病氣、中雛の飼ひ方、中雛の病氣、成雛に就いて場所と環境、四季の手入れ、飼料は一日に何回か、成雛の病氣、平飼いとパター飼ひの問題、以上の通りであります。先ず養鶏をやる上におきまして是非知つておかなければならない育雛の知識から申し上げたいと思ひます。

例へば二百箇の卵を一緒に孵化機の中に入れたとしますと、三週間て孵化するのが普通であります。が其の内から早く生れた雛ほどよいといふ訳であります。つまり凡ての面において発育が進んで居る事に成ります。

育雛の方法としては、先々やり方が行われて居るが踏込育雛、炭、又は隙炭をやる方法、ランプを使用する。普通は炭の上のやうなやり方が多いように思ふが一番安全で、しかも経済的なやり方としては、踏込育雛といふ事に成るだらう。

踏込の時期は雛を入れる七百前に行う訳である。なぜ七日前かと言へば一日目の温度が百十四度位いとすれば、五日目に成ると百四十一度と云ふ高温で、ガスマも大体発散を終る。

七日目になれば温度も百十度位いで雛にとつては一番適した温度に成るから、一週間前に行うものである。それでは餌付第一日目の育て方を申してみよう。

餌付けの時期は生後四十五時間又は六〇時間たつた時である。百羽に付き、餌の量五〇匁、青菜の量一〇匁、温度九十五度一百度、飲水器にぬるま湯を入れ一二羽の雛に飲ませ方を教えると、他のものも、これにならつて水を飲む。

木炭の粉末を新聞紙上に広げて与える育雛器内を暗くして雛を二、三時間休ませる。配合飼料の外に卵黄のゆでたもの四箇をふるいにかけておけりとし、青菜の細切したものと一緒に練餌とし、これを新聞紙の上に広げて与える。

9時11時1時3時の四回に与え、あとは薄暗くして安眠させる。後は質問に応じたいと思ふ。雛の病氣としては尿つき又自ずれなどが出る。

何が原因かといへば、密着したり、温度の急変によつて起きるものである。先ず密着しない事、予防としては

食塩を飼料の中に〇・五%又青菜を其のまゝ根付けてあたえる。

木炭の粉末をあたえながら換気をよくする事、中雌の飼ひ方としては、将来よく産卵する体力を作るために、中雌時代に充分休を作り鍛練しておく事である。

飼料は穀類が六〇、ゆか類三二、魚粉八%の割合でできるだけ多くの飼料をあたえる。又鶏産卵防の時期でもある。成鶏になつてから、エボシに黒点を見る場合がある。ひどいものになると目がつぶれてしまふのが原因かといへば、蚊になつたのが原因で其のような結果になる。成鶏に就いて、初産後の鶏を一応成鶏と見て、栄養等について申してみよう。

先子卵を余り産ませないといふ事であるが、栄養の問題は大切ではないかと思ふ。成鶏には毎日どれ位いの栄養が必要かといへば、五割程度の産卵鶏で二三〇カロリ、七割程度で二六〇カロリ、八割程度で二九〇〜三〇〇カロリを必要とするものである。四季の入手、冬の場合であれば、鶏は熱い真夏の時などは特におとろえるが、春期には案外強い性質のものである。しかし、寒度が激しくあたるようではいくら鶏といへども余りよくない事である。

寒風を防いでカロリの多い飼料をあたへる事。六・七月頃の養鶏としては、梅雨期でもあり、一年中一番飼ひにくい時である。平飼いの場合であると、床や運動場はいつもじめ〜として、しかも羽根はよぐれ、食欲は衰へ、みずから、普通の状態ではないような事もある。これではいくら栄養をあたへても無駄な事である。先子環境をよくする。風の通風を計る。

ワケモの発生する時期であるから、其の予防を実施する。醗配ニコチン四〇%液を、床や板の間などに消毒する。秋の養鶏、秋は一年中でもじとも、日が短かい時であるから、日照時間が足りないのが欠点である。

新鮮な卵を休んで取り扱ひ、つまり使い果した羽毛を捨て、秋らしい羽生と取り換へて冬越しの準備をするのと考へられる。従つて、卵の生産が少なくなる。其の反面において卵は一番高い。

出来れば高い時に産卵させたいと思ふのが養鶏家の考へであるが其の問題はどうする事も出来なかつた訳である。所が現在では点産養鶏が行われるようになつてから、卵の生産が平均して来たものと考へられる。

点産養鶏のやり方が申し見よう。一年鶏、二年鶏三年鶏によつて其のやり方が違ふ訳である。一年鶏で二時間二年鶏で一時間半、三年鶏以上のもので二時間とする。群しいい、一年鶏の日照時間を四〇ワットで二時間、二年鶏で二時間、三年鶏以上六〇ワット、一四時間である。つまり一日の日照時間を三時間とする訳である。

ある。

飼料の分量は一日に三回として、第一回が六時〜六時半迄、第二回が十一時〜十一時半迄、第三回四時〜四時半迄、最後の時には穀餌をませ合せて夜間の空腹を去えないようにする。腹八分に病いなしといふ言葉の通り、鶏も腹八分にあたえざるのがよろし、二時休憩を経過して見て腹がなくなると鶏は一時休息の状態なり、それで腹八分以上、満腹の一手前といふ事に成るから、その感を取り出すのも技術のひとつであると思ふ。

最後に、小長谷方の養鶏のあり方について説明して見たいと思ひます。成鶏の三百九十羽、中雌百十羽、計五百羽の専門養鶏である。

小長谷方では、全部購入飼料であるが、自給飼料よりもかつてよい成績である。

御主人は、このやり方に次のような事をいわれてあります。下手に自給飼料をやつて、産卵率を低下させるよりも、購入飼料ももちいて、早く生ませ、多産卵にする事が、結果的に於いて、よいといふ言葉は、なかなかの自信たつたつた。

それも其のはず、同家の成績結果を見てみると、少ない時で一日当りの飼料費千五百円で当時一貫八百円の卵を三百五十羽成ります。飼料費差引きの一日千三百円の収入といふ事になります。

しかも、女一人でこれだけの収入を上げておられる事に對し、私共は今迄の農業経営のあり方に、心から反省を求めなければならぬと思ひます。

研修期間中に養鶏実習致しました事は、決して無意味にせず、今後大津町養鶏発展のため、全力を尽したいと思ひますので、どしどし御活用の程御願ひ致します。

### 豊岡隆雄

将来、米麦作一本やりの農業のやり方では、毎年の合風や早晩のために不安定、麦作の行きづまりに何か安定した今後の仕事に取組む、畑作地帯の不安定な生活から安定した生活が出来る畜産にと思ひ立つた訳でございます。

私は安定した生活をきづく為、導入する前に自分の養農技術を身に付ようと思ひ立ちこのたび参加させて頂いた訳でございます。静岡県内に入つて一番先に目についたのはどんな傾斜地でも開墾して、お茶、みかん類を積んであり中には、大豆、小豆、コンニャクイモがあるのに感心しました。それにくらべると大津地帯はあまりにも条件が良くないと思ひました。

私達が興溜地とする函南村丹那に向つた訳ですが、目的地に溜くまでの飼料作地の急傾斜地は、驚きの目を見張るばかりです。

函南村農協に働き専務さん、牛乳処理所の説明を聞き、当処理所は昭和三十年に組合員の樹立により落成して現在加工牛乳を各市に出して居るとの事でした。

其の後農家に行く前に当農協より、牛乳一本づゝ戴いたのも全部農協で加工した物です。これが普通の処でしたらおそろしく一番先にお茶が出ますが、さすが酪農の本場だけあって感心しました。

私の配属されました家は、家族は親父さん夫婦と息子さん夫婦の四名で家畜は、乳牛四頭の内二頭が搾乳牛後二頭は育成牛です。

馬一頭、耕作面積は水田二反半、畑一町三反、山林三〇町で労働人員は三名です。

八月三十一日夕方より家族の一員になり、すぐ作業衣に変えて夜の飼付も終り、酪農と云ふ仕事も搾乳法等も全々知らず明日からの酪農実習の不安な一夜を過ぎ、翌朝一五時に起床し地下足袋をはき、搾乳法の指導を受けました。

仕事は飼料作付準備にクワだけで畑を打ち、飼料用カブを種付しました。一番ヤブカイなのは牛の運動です。この乳牛には、鼻づりを付けないの牛に自由自在に引き回されてしまい、月日が立つたにつれて大分なれては来ましたが全々氣をゆるす事は出来ません。

四日目に全日本ホトメイン種協理事近藤春雄氏の講演を聞き今日までの丹那酪農、乳牛の飼育、管理に付いて座談会を開きました。近藤氏の話には「酪農をはじめめる前は、山仕事などの不安定な毎日をすこし学校にも行けない人もあつたが現在では安定した生活が出来るようになり、将来の酪農は、年間総収入を一戸当り百万円を目ざらにおき搾乳牛五、六頭導入したい」と云つておられました。

私達が酪農経営方面に勉強をはじめて第一に感じたことは一年間の飼料作付計画が如何に大切か、ということです。

唯一口に作付と云つても、普通私達の地方の作付を見ましても飼料作の品種が少い事が考えられますが、丹那では牧草の作付も一度すれば約五年は植ゑえず、植付の時間をばき、又牧草の栄養価が大切で栄養価の有る作付計画する事が第一だと思つたのでした。

一度の飼付量は、体重の一割五分〜二割の中に出来るだけ多くの品種を食へさせて、充分に栄養価の有る飼料を食へさせる事が一番だとし、思つた次第です。

丹那の酪農は明治十八年以前の古い地帯ですが、全戸

に導入するまでの期間は充分長く、現在の酪農地になる乳牛工場にお現わせない、苦しい時代であり、三島市の線孔工場まで約三里の道を馬車で持つて行つたとのことでした。

現在では道路、処理所も出来、汗と涙の力が大きくなり、小組合を組織して毎月五日、乳量代金を組合に持帰り、日當品、飼料、肥料、税金、あるいは電燈代等を小組合全部と、婦人達まで携合して収入、支出を計算し、酪農発展への話合いも夜のふけるのも忘れて話し合い、毎月五日を給料日と云つたサラリーマン気分を明る生活もするようになった。

時に私しの実習期間内に感じた事は、濃厚飼料にたよらず、乳牛は草食動物で有ますから、あくまでも自給飼料による粗飼料を充分に食へさせてプラスになる酪農経営に持つて行かなければならない事が興溜地に行つて初めてわかつた次第でした。

## 赤星典太 東 弘仁

大津町先進地派遣青年として私達九名は町長様を始め公民館青年回員各位の援助によりまして、静岡県の酪農の先進地へ八月二十八日出発致しました。

八月三十一日にはそれぞれ各農家へ住込みしてそれから家族の員として、見て聞いて働きまして一つでも多くの技術や手法を学び取らうと努力しました。何分にも限られた日数の急ぎ様の御期待にそつような結果は出来ませんと思ひますが、研修期間内に学びました事を簡単に報告させて頂きます。

伊豆半島の咽喉部を扼し箱根山沿面臨にあたる海抜二五〇米にあり函南村東部山開地帯であります。

この盆地の下一五〇米の所を東西に丹那トンネルが貫通して居ます。

東に長野熱海、西に三島市と都市をひかえ、地理的に恵まれて居ます。

氣候も山開地帯で季節によつて曇が多く降雨量は平地地より、やや多いようでありませぬ。  
温度も冬期〇度を下り、夏期三十二・三度位であります。但雪での作物の被害は少ない。  
火山灰土で保水力乏しく干魃の被害は多い、盆地の中央部が水田で、部落は円の内側に点在しています。  
畑地はどちらとちが山を耕した様な急傾斜を利用しています。

畜力、動力等はいくらも全部クワで耕すも腰疼作地

であり、牧草や飼料作物作りには、苦勞しています。  
この丹那の酪農は大分古く明治十八年頃から始められたと云われています。

又高冷地のため農作物は災害にみまわれ当時悲惨な貧乏村でありました。これを酪農によつて現金収入を増し肥料の利用によつて増収を図り農業経営を安定させようとしたのであります。

又明治二十四年、三島市に煉乳工場が出来まして乳牛飼育熱と増産意欲が各農家に普及した。

大正の初期まではホルスタインの種牛であつたが大正六年純粋なホルスタインが導入されまして、現在では九十九％が純粋なホルスタイン種であります。生産された牛乳は部落毎に運送人によつて三島の煉乳工場まで馬車で運んでいました。昭和三十三年組合が結成され一部を市乳として御進販売することになり残つた、牛乳は麥水製菓と契約して加工品として出す様になりました。現在組合員一七〇戸余で乳牛四〇〇頭余あります。

私達の住まされた農家は水田四〇アール、畑一・五ヘクタール、乳牛四頭、うち現在搾乳している牛二頭、馬一頭であります。

家族は祖父夫婦、息子夫婦、子供二人でありました、一頭当り平均出乳量一斗一升で、一升当り四三円で、一頭当りの一回飼料トウモロコシク混合したのを肥取一杯、濃厚飼料としてフスマ、タイズカス、配合飼料、ハマカの引割を各一升づつ、塩少々であります。だいたい一頭一日体重の一割はあたえられる。

今迄に述べた事が私達が学んだ酪農の発展と経営状態であります。立地条件も我が大津町より悪く決して大津町で真似の出来ない事ではなく本格的な酪農地と進むなら私達の学んできた、土地以上の酪農地が出来るだろうと確信致します。米麦一本やりの我ら農家は経済面に乏しく、ここに酪農を取り現金収入を増し肥料の利用に依つて増収を図り経営面を安定させるのである。一日でも早くこれらの先進地の様に酪農を導入し、得來は自給飼料の増産、経営の合理化、畜舎の改良、生産費の低下、又生活の向上保健栄養の為に自家消費の奨励をして、一方で販売組織の拡大を計ると共に、團結を強

化して安全な農家の生活の向上がえられるならば私達が学んで来た事も大いに成果があるだろうと思ひます。  
以上のような経験を生かしまして、これから先の一日を無駄なく過して行きたいと思つて居ます。

### 古庄 敏雄

私達一行九名は八月廿八日に熊本を立つて廿九日に静岡の県農養鶏講習場で二泊したのち三十一日の夕目的地の丹那に着いた、丹那は四方山にかこまれて標高四一〇米の部落である、私がお世話になつた家は丹那の下丹那で戸数三十戸余りで、此の家の家族は七人でした、主として働き手は二人で祖父祖母は少し家事の手伝いをするほど弟さんは人工授精師として農協へつとめて居る子供は二人とも小学校へ通つてゐた。

耕作地は富士火山灰土で保水力はなく夏は干害、冬は風害霜害ありて思う様な作物は出来ないため酪農に力を入れて来たわけで今は乳牛四頭の内搾乳牛二頭、馬一頭耕作面積は畑一町五反、田二反半でありました。畑は全部傾斜地のため牛や馬の利用はできない。

私は到着した翌日から十三日まで家族の者と、つしよに似た朝五時に起きて牛糞のかたづけから搾乳まで一生懸命に働きはじめました、搾乳は初めてだったので思う様に出来なかつた、最初は手や足にひつかつてパケツは出来ない、でも目をかきぬるにつれてだん／＼できる様になつた、主人や奥さんが良く指導して下さいて私の搾乳中はえを這つた牛が動かぬ様につかまえて下さつた、この搾乳が終わつて朝食して七時頃からは野良に出かける、仕事はこれも初めてで仰うち（わ）で当初はくわが土にぬからず大変苦しかつた、手が赤くはれて豆ができておになつたのでそれを奥さんが見かねて翌日からは手ぶくろをかして下さつた、田は湿地で農作の麦作はできないため飼料用のれんげ草をまいてゐた。

乳牛の出乳と飼料一日の量は一斗二升三斗で一ヶ月三石余り、価値は一萬五千円余飼料代は乳代の三分一で良い。

牛は粗食動物で一日に体重の一割位の飼料を与えると

聞いた。飼料は青刈りトウモロコシ十五貫で濃厚飼料七  
 升位で集乳は全部農協へ協同集荷する仕組みになつてい  
 る。農協で日用品も取りあつて乳代で支払うわけ  
 だ。毎月五日がかんじよう日で小組長さんの宅で行われ  
 ていました。

酪農の経営法丹那は長野とちがつて搾乳一本ではない  
 たため乳牛改良に力を入れている。子牛を育成して他県に  
 出して牛の良いのが名高い。県沼津種畜場には十四、

頭の種牡牛がいて英国からカーネイソフキノターと  
 クリークリングズマスタが二頭いて丹那でこから種を持  
 つて来て人工授精している、今年も種畜場長が訪米して  
 七百万円もかけて導入してくるので貴方達が牛を買うな  
 らばこの丹那から買いたくないと言つて宣伝までされた、  
 たしかに牛は良いと思つた。  
 私もぜひ導入したいと思つているが買うならば小牛を  
 育成して牛にならなければならないと思つている。

# 「性犯罪について」

## 「ちよつと御注意」

性犯罪は強盗や殺人罪などともに悪質な犯罪として法  
 律(刑法)では重い処罰の規定を設けています。  
 警察では性犯罪が少しでも減少するようにいろいろな  
 施策を講じているところでありますが遺憾ながら年々増  
 加しているのが現状であります。

これを前年同期にくらべてみると(検挙人員)  
 昭和三十三年 自一月 一三二人  
 自八月 (一九九)  
 昭和三十四年 自一月 一四五人  
 自八月 (八一)

熊本県下

大津署管内  
 昭和三十三年 自一月 四人  
 自八月 (三)  
 昭和三十四年 自一月 六人  
 自八月 (五)

( ) の数字は少年の内数を示す。  
 となつております。  
 そして特に目立っているのが少年による輪姦(二人  
 以上の強姦)事件であります。この性犯罪は被害者で  
 ある婦女子の不注意もその原因の一つと思われれますが、  
 それにも増して加害者側の法外軽視、いがいえますと大  
 したこととはないだろうとの安易な気持と古くから部落に  
 残っている風習、例へば若い者の夜這いなどは大目に見  
 るといったこと、大きな原因ではないかと思われれます。  
 刑法では性犯罪についてどのように規定してあるかを  
 参考まで要約して述べます。

○刑法第一七六条(強姦わいせつ罪) 六月以上七年以下  
 の懲役

○刑法第一七七条(強姦罪) 二年以上の有期懲役  
 ○刑法第一八一一条(強姦致死傷罪) 無期又は三年以上の  
 懲役

となつております。  
 この中の強姦わいせつや強姦の罪は一人で犯した場合  
 には親告罪(被害者や親権者など一定の告訴権者が犯人  
 の処罰を求める訴えを捜査機関に申出なければ起訴され  
 ない)ですが強姦致死傷罪、例えげ強姦をするにあつた  
 つて相手方を死に至らしめたり傷(怪我)を与えたりした場  
 合とか、又いわゆる輪姦事件については昨年四月の刑法  
 の一部改正によつて親告罪の適用がないようになつてお  
 ります。  
 従つて告訴がなくても、又告訴が取下げられても処罰  
 されます。

「註」右に述べました法律関係はわいせつ罪や強姦罪  
 の規定の総てではなく一例に過ぎませんので、こ  
 の点、間違のないようにして下さい。」

以上でお判りのことと思いますが性犯罪はその反社会  
 性に照らして特に重く処罰する旨の規定を設けてあるの  
 であります。が輕重にかかわらず實際的な性犯罪は  
 私たちの郷土から撲滅するようにお互い気をつけまし  
 よう。  
 (大津町防犯協会)

(大津警察署)

